次に小学校で教わるのが「第3次産業」

言い換えればサービス業です。

サービス業とは農業、水産業、林業、工業の生産物（products）に人（人的ノウハウ、スキル、パワー）を介して（付帯させて）提供する産業です。

現代社会ではこの第3次産業への従事者の構成比が一番多くなっております。つまりそれで「飯を食っている」人が多い訳です。

そして昨今言われ始めているのが「第4次産業」の現出。

此処で言う第4次産業とは「情報化、情報活用、情報処理などの情報業」を指します。

実際には情報産業より前に「情報化社会」の方が早かに到来している感があります。

同じ様に「社会」という謂い方を用いますと第1次産業社会は「農業社会」とは言いません。

普通「農耕社会」といいます。

同様に第3次産業社会を「サービス社会」とも言いません。

「社会」という言葉がついて認知されているのは「工業化社会」と「情報化社会」だけです。

何か理由があるのでしょうか？